

縄南道通信



平成31年 3月 4日 発行
東大阪市立縄手南中学校最終号

「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」

くすは縄手南校 横小路校舎
日比野 功

東大阪市立義務教育学校くすは縄手南校教育理念

～縄南道による～二十歳の成人式に



当たり前の行動を当たり前に行うことができる人の育成

「感動」を与えることができる人に！ 輝きを放つ人に！

「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」は不滅です！

平成31年3月12日、本校第32回卒業証書授与式が挙行され、引き続き東大阪市立縄手南中学校閉校式が行われます。また、新年度の4月6日には東大阪市立義務教育学校くすは縄手南校開校式が行われます。縄手南校区にとってはまさに歴史的な瞬間です。32年前に地域の方々が、この縄手南地域に新しい歴史を刻み、みなさまのご尽力のおかげでその時にも歴史的な瞬間がありました。縄手南中学校で義務教育を修了した生徒が今は縄手南中学校の保護者になられ、校区校外指導協議会をはじめとした地域諸団体の一員として運営してこられた方々が今は自治会を中心とした地域を代表する運営に携わっておられたりと、32年間のそれぞれの瞬間にはそれぞれの美しい輝きがあります。全国で例のない千百人規模の施設分離型義務教育学校である「くすは縄手南校」は、次の30年後にはどのような歴史を積み上げられているかが楽しみです。

人は「感動」を味わう瞬間があります。また、人は「感動」を与えることもできます。「感動」を与えることができることはとても素晴らしいことです。「9回の裏2アウト、最後の打者が打った打球でランナーがホームを突く、守備の選手も必死でバックホーム返球し、ホームプレート上でのアウトかセーフの間一髪のプレー、観客は息を飲み、その判定に球場全体が一瞬静まり返り、アウト・セーフの判定を見極めた後に観客が沸き返り、その必死のプレーに魅了され、敵味方関係なく拍手を送る瞬間」、「長野五輪スキージャンプ団体戦での日本チームの戦いを、4年前の原田選手の大失速を含め、選手たちの必死の思いや苦労、挫折を乗り越えてきた姿を感じながら応援し、日本チームの金メダルに感動し歓喜の声援を送る瞬間」、「はやぶさ2が苦難を乗り越え、研究チームの果てしない努力が実り、小惑星リュウグウに着陸成功した瞬間」、「人の心を動かし、人の心に応える素晴らしい感性と技術で表現された芸術に触れる瞬間」、「テレビの映像で映し出される災害等から命が救われる瞬間、また命が誕生する瞬間、動物が人と心を交わす瞬間」等、人が感動を味わう場面はたくさんあります。こうした場面に触れた瞬間、どうして人は感動を味わうのでしょうか。そこには理屈なく、努力や苦労、一生懸命や本気、損得のない心の交わりといった多くの美しい要素があるからです。また、それらの場面に遭遇したり、見たり聞いたりして素晴らしいと感じることのできる感性を持っているからこそ「感動」を味わうことができるのではないのでしょうか。

縄手南中学校で学ぶ生徒諸君には、「心」を磨いて欲しいと思ってきました。「心・技・体」の研鑽のもと、「人格」を磨いて欲しいと伝えてきました。なぜなら、大人になっても間違いなく必要なことだからです。身につけていなければならぬ資質だからです。「当たり前」という感覚を磨

くこと、つまり日常の行動における「意識改革」を図って「行動改革」を図り、意識された行動を継続することにより「習慣」へと変革すること、そしてこの「習慣」が変わることで「結果」につながります。自分が使った場所をきれいに元に戻すことは当たり前、次に使う人のことを考えて使う前よりていねいに気持ちよく仕上げることを意識すれば、使わせていただいた感謝の心も芽生え、そのような習慣が身につく人としてまた一歩成長します。おそらく使った場所を最初よりきれいに仕上げるのが当たり前となって身につけているだけで、人生が大きく変わる出会いに遭遇することがあるでしょう。一生懸命に何かに取り組んでいる人は輝きを放っています。ていねいに物事に取り組むことができる人は信用を得ることができます。なんでもひたむきに取り組むことのできる人はきっと成功を勝ち取ることができるでしょう。「一生懸命」「ていねい」「ひたむき」は「縄南道」が伝える「勝因」です。いい加減なことしかできない人は必ずいつかは失敗します。適当なことしかできないチームは勝てるはずありません。だいたいにはできない人を信用することはできません。「いい加減」「適当」「だいたい」は「縄南道」が伝える「敗因」です。「結果」にたどり着くまでには時間のかかることもあれば、挫折を味わうことも多くあります。すぐにはうまくいかなくて遠回りをすることも当然あります。「成功」の反対は「失敗」ではありません。「成功」の反対は「あきらめ」です。挫折してもあきらめさえしなければ、何度も這い上がれば良いのですから決して難しいことではありません。そして、今すぐ誰にでも、絶対にできることが「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」です。この「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」の意味することを深く理解し、実行するかしないかは自分との勝負です。できるかできないかではなく、自分がやるかやらないかです。勝負に打ち勝つために「人格」を磨かなければなりません。

平成31年3月12日、縄手南中学校は歴史の幕を閉じます。また、それから3月31日までは新しい歴史のスタートへのステージ準備が行われます。32年前、縄手南校区の皆様が思いを寄せられて開校された縄手南中学校のラストです。この学校をつくられた方々に、また君たちの家族の方々に、これまで見守っていただいた方々に、感動を与えることのできる卒業式・閉校式となるよう期待しています。感動的な卒業式・閉校式が未来に語りつがれますように！

そして「感動」を与え、輝くことができる人へと成長して行ってください。

部活動・コンクール・発表会等表彰

バドミントン 第27回東大阪市中学校総合体育大会

男子ダブルスの部 準優勝 山川颯太 田中瑞己(全8年) 男子シングルの部 3位 管田明日斗(8年)

吹奏楽 東大阪市アンサンブルコンテスト

サクソス三重奏 銀賞「夏のスケッチ」

フルート三重奏 銀賞「トリプルあいす」

管打六重奏 銀賞「ブリリアントダンス」

金管六重奏 銀賞「あの坂の向こう」

第23回全日本中学生・高校生管打楽器ソロコンテスト関西大会予選(中学生部門)東大阪大会

フルート銀賞「『歌の翼』による幻想曲」飯島千晴(8年)

ユーフォニアム銀賞「シチリアーノ」田井いぶき(7年)

ホルン金賞「ロマンス」野口ひなた(8年)

英語科 東大阪 English Essay Contest 入賞 杉本みなみ(8年)

陸上 第65回枚岡公園クロスカントリー競走大会

中学男子1年2km之部 3位 7' 24" 菊山蒼太(7年)

中学男子2・3年3km之部 6位 14' 05" 久保諒冨(8年)

東大阪中学校風景画コンクール 金賞 原田知佳(8年) 銀賞 井堂彩名(8年) 野間口蒼(7年)

銅賞 橋本万理奈(7年) 白鞘望(7年)